

日本測地学会賞瀬戸賞規程

日本測地学会

1. (趣旨) 本賞は、故瀬戸玲子氏および故瀬戸孝夫氏による日本測地学会への大きな貢献を記念し、測地学分野の研究を志す学生や若手研究者を奨励することを目的とする。
2. (授賞の対象) 毎年若干名の学生や若手研究者に、日本測地学会賞瀬戸賞(研究スタートアップ)・日本測地学会賞瀬戸賞(出版支援)を授与する。
3. (授賞の方法) 授賞は、日本測地学会企画委員会が決定し、受賞者に通知するとともに、日本測地学会講演会において報告する。
4. (基金) 本賞の基金には、故瀬戸玲子氏による寄附金を充てる。
5. (基金の取り扱い) 本賞の基金は、日本測地学会の特別会計として取り扱う。
6. (その他) この規程に定めるもののほか、本賞の実施に必要な事項は、日本測地学会評議会が別に定める。
7. (規程の解釈等) 本規程の解釈について疑義が生じた場合、または、本規程にない問題が生じた場合には、日本測地学会評議会においてこれを定める。
8. (規程の変更) 本規程を変更する必要がある時は、日本測地学会は、日本測地学会評議会の合意を得て、これを変更することができる。

(2021年10月5日 日本測地学会総会承認、同日から施行)

日本測地学会賞瀬戸賞応募手続き細則

日本測地学会

日本測地学会会員は日本測地学会賞瀬戸賞規程により、日本測地学会賞瀬戸賞の受賞候補として自薦できる。その資格や手続きについて、同規程第 6 条に基づき以下のように定める。

日本測地学会賞瀬戸賞（研究スタートアップ）

- 応募資格：修士もしくは博士課程に在籍する日本測地学会学生会員。過去に日本測地学会賞瀬戸賞（研究スタートアップ）を受賞していないこと。過去4件以上（申し込み中のものを含む）学生として日本測地学会講演会または日本地球惑星科学連合大会（注1）にて筆頭著者としての発表実績があること。
- 応募手続きと注意：自由な発想に基づき研究計画を構想したうえ、別記1の書式に沿って提案すること。研究内容は専門外の審査員にも理解できる形で示すこと。電子メールに添付する形で seto_prize@geod.jpn.org に送ること。応募書類を作成する際に、指導教員など応募者以外の指示や助言を受けないこと。
- 賞金と用途：上限は15万円とする。提出した研究計画に沿って研究に使うこと。講演会旅費を主たる支出にすることは認めない。論文出版に充てることも認めない。他の研究費等との合算があれば明記すること。賞金授与から6か月以内に日本測地学会事務局に具体的な支出内容を報告し、残額がある場合には返却すること。
- 報告：賞金受領から1年以内の日本測地学会講演会または日本地球惑星科学連合大会（注1）において、本研究の成果について報告すること。報告時には学生である必要はない。そのとき、日本測地学会賞瀬戸賞（研究スタートアップ）の賞金を充てたこと、さらにその用途についても簡単に紹介すること。論文化も推奨する。講演会要旨や論文では、謝辞・Acknowledgement などに本賞について記載すること（注2）。

日本測地学会賞瀬戸賞（出版支援）

- 応募資格：学士もしくは修士もしくは博士課程に在籍する日本測地学会学生会員、もしくは修了後2年以内の日本測地学会会員。過去に日本測地学会賞瀬戸賞（出版支援）を受賞していないこと。過去の日本測地学会講演会または日本地球惑星科学連合大会（注1）にて筆頭著者として、投稿中の論文の主要部についての発表実績があること（申し込み中のものを含む）。
- 応募手続きと注意：測地学関連の査読付き英文論文誌に投稿している、もしくは受理されていること。別記2の書式に沿って、論文の概要等を紹介し、電子メールに添付する

形で seto_prize@geod.jpn.org に送ること。

- 内定の提示：投稿時に応募することを推奨する。採録決定を条件とした受賞の内定が通知されることがある。
- 賞金：上限は20万円とする。送金証明をもとに支給する。他の研究費等との合算があれば明記すること。
- 報告：謝辞・Acknowledgement に本賞について記載すること（注2）。

（注1） 測地学に関連するセッションであること。

（注2） 英語論文の場合、例えば ”The author ○○ received the Seto Prize of the Geodetic Society of Japan and this study was supported by the award.” 日本語論文の場合、例えば「著者○○は日本測地学会賞瀬戸賞を受賞し、本研究にはその賞金を充てた。」のように。

(2021年8月11日 日本測地学会評議会了承)

(別記 1)

(全体で 2 ページ以内とすること)

日本測地学会企画委員会委員長殿

2020年〇月〇日

日本測地学会賞瀬戸賞（研究スタートアップ）に応募いたします。

記

応募者名： 〇〇 〇〇

大学・所属・学年： 〇〇大学 〇〇研究科 修士 or 博士〇年

電子メールアドレス： 〇〇@〇〇

研究課題： 〇〇

希望支援額： 〇〇円（最大 15 万円）

研究計画（図表を用いてもよい）

- ・ 研究の概要
- ・ 新奇性
- ・ 賞金の使途（各項目の概算金額も）と研究課題との関係
- ・ 発表を予定する日本測地学会講演会（細則注 1）の時期

過去 4 件以上の学生としての日本測地学会講演会（細則注 1）における発表：

（それぞれ、全著者・発表題目・講演会名・年を記すこと。申込中のものを含めてもよい。）

〇〇 〇〇, 〇〇 〇〇, 〇〇 〇〇, 「〇〇」, 第〇回日本測地学会講演会, 20xx.
〇〇 〇〇, 〇〇 〇〇, 「〇〇」, 日本地球惑星科学連合 20xx 年大会, 20xx.

以下を確認しましたので、チェックボックス（）にチェック✓します。

日本測地学会瀬戸賞（研究スタートアップ）の細則記載事項を理解しました。

本応募書類の作成に当たり、誰からも助言を受けていないことを誓います。

以上

(別記2)

日本測地学会企画委員会委員長殿

2020年〇月〇日

日本測地学会賞瀬戸賞（出版支援）に応募いたします。

記

応募者名：〇〇 〇〇

大学・所属・学年：〇〇大学 〇〇研究科 学士 or 修士 or 博士〇年 or 〇〇年〇月修了

電子メールアドレス：〇〇@〇〇

投稿中もしくは受理された論文について

- ・投稿先誌名：〇〇
- ・投稿日：〇〇
- ・論文題目：〇〇
- ・著者一覧：〇〇 〇〇, 〇〇 〇〇
- ・現況：初稿投稿中 or Major/minor revision 判定を受け改訂中 or 〇月〇日受理

本論文の主要部を含む日本測地学会講演会（細則注1）における発表：

（全著者・発表題目・講演会名・年を記すこと。申込中のものを含めてもよい。複数可。）

〇〇 〇〇, 〇〇 〇〇, 〇〇 〇〇, 「〇〇」, 第〇回日本測地学会講演会, 20xx.

以下を確認しましたので、チェックボックス（）にチェック✓します。

- 日本測地学会瀬戸賞（出版支援）の細則記載事項を理解しました。
- 投稿中もしくは受理された論文原稿の全部もしくは一部（最低限、アブストラクトは含めること）を添付しました。

以上